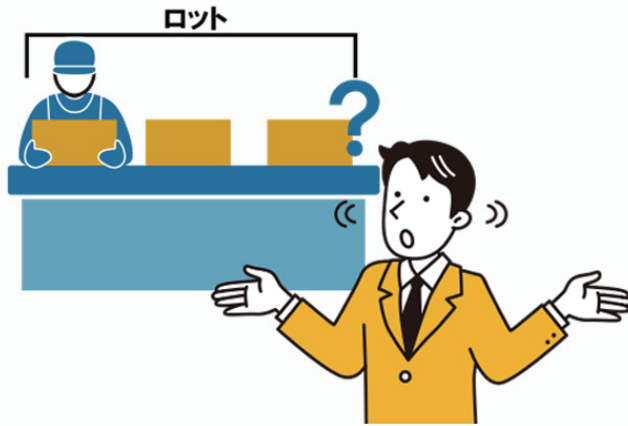


生産管理システム

Problem

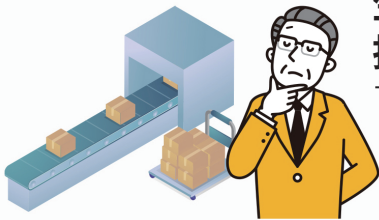
どのような事にお悩みですか？



■トラブル発生時にロット番号やシリアル番号で製品を特定したい

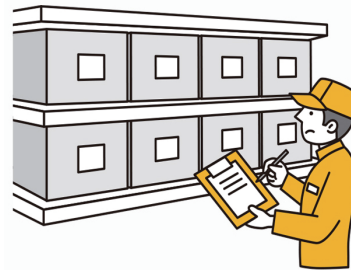
トラブル発生時に、製品の特定に時間がかかってしまう。どの機器で発生したか、ロット番号やシリアル番号で製品の管理を行い、確な情報を知りたい。

■「何を」「いつ」「どれだけ」生産するのか、把握したい



「何を」「いつ」「どれだけ」生産し、「いつまで」出荷するのか、作業時間や原材料費を含めて原価計算を正確に計算したい。

■在庫が不足したり、余ったり。管理しきれっていない。




出荷数がいつも不規則で、製品が不足したり余ったりする。出荷の動向を踏まえて、仕入れや人員を含めて、生産ラインを調整したい。

アルファシステムが解決いたします！

We'll solve it.

- 1 製品ごとに、ロット・シリアル番号で記録・管理するため、製品をすぐに特定できます。
- > 2 生産計画を正確に立てることで、納期管理や進捗管理が行えます。
- > 3 在庫管理を正確に行うことで、仕入れや出荷の調整を図るので、適切な製品数を維持できます。

■生産管理システムのメリット



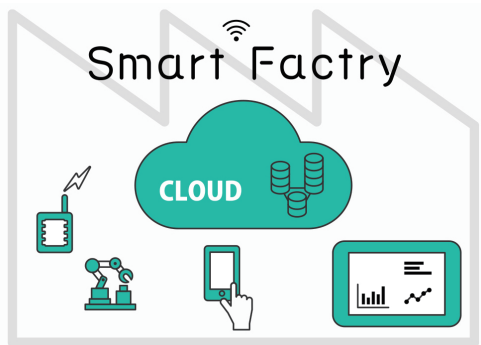
生産管理システムとは、設計・生産・販売といったモノづくりに関わる情報を一元管理し、生産性を向上させるシステムのことです。生産管理システムは、生産工程ごとに必要なシステムの集合体であり、それを一元管理することによって、業務の無理・無駄を省き、生産効率を向上させることができます。

■基本的な機能について

■作業進捗の確認や、作業負荷を管理できる
 仕掛品の流れを把握することで、より効率的に現場改善を行えます。工程管理においては、機械や作業員などのリソースごとに能力値を設定することができます。能力値を設定後「負荷照会」機能を利用することで、日々の負荷状況を参照することができます。

●作業指示 ●作業進捗照会 ●作業日報

上記の機能をベースとして、追加機能を加えると、お客様の生産工程にあった管理を行えます。次項の機能を追加する事により、より充実した生産管理システムにカスタマイズできます。



Option 機能

①生産計画機能

■どの製品を「いつ」「どれだけ」「どれくらいの費用で」生産するかを計画できる

生産を行う上での土台となる部分です。どの製品を「いつ」「どれだけ」「どれくらいの費用で」生産するかを高い精度で計画でき、過剰生産や製品不足を防ぐことができます。見込み生産計画をシステム上で立てられるので、従業員の動きを適切に調整することも可能です。

②資材管理機能

■原材料・補助部品の仕入れ計画ができる

生産計画通りに予定が遂行できるように、原材料や補助品で必要になる量を計算し、納期に間に合うように仕入計画を立てます。

- 製番管理・手配表
- 所要量計算

③販売管理機能

■販売数を把握・予測する

製品が効率よく生産できても、販売できなければ意味がありません。生産管理システムの販売管理機能を利用することで、販売数量を正確に把握・予測して、適正在庫を維持します。

- 見積もり
- 受注
- 出荷
- 売上

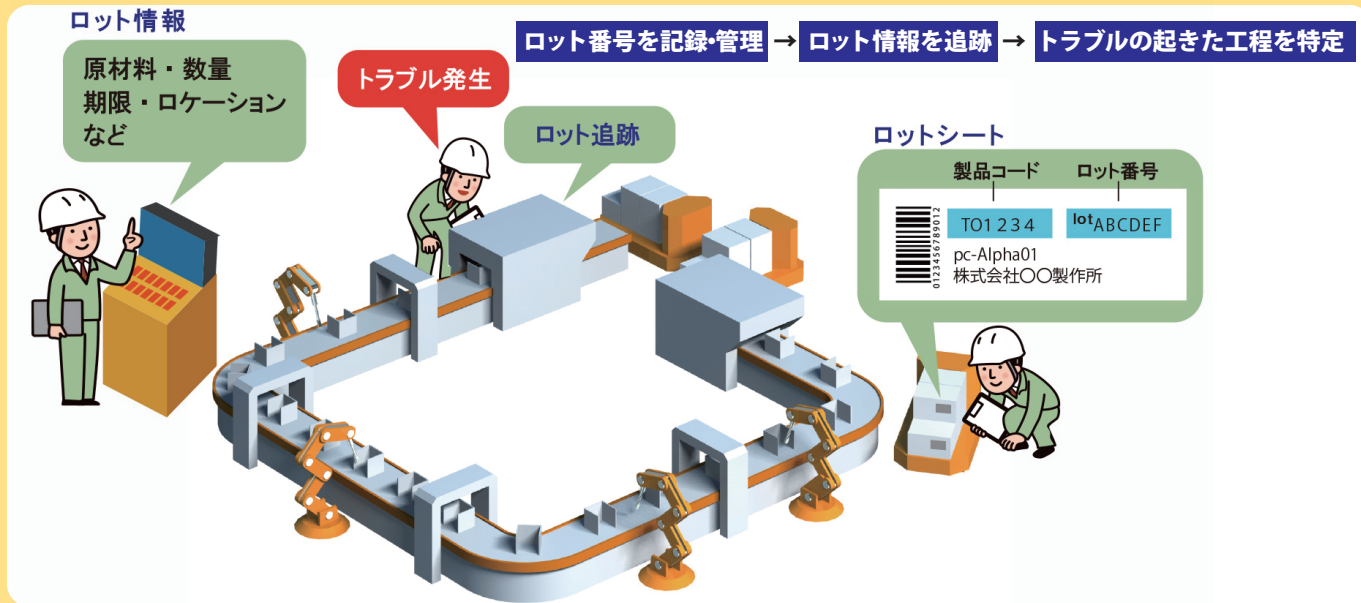
④仕入管理機能

■仕入れの管理を柔軟に行う

仕入管理を効果的に行うことは、企業の利潤を最大化できる非常に重要な業務です。仕入れは、利益を生み出す最初の工程となるため、常にリスクヘッジを行いながら、競合他社に対する競争力やアドバンテージを維持するために重要な機能です。

- 発注
- 支給
- 受入検収

生産システムロットトレース



⑤在庫管理機能(ロットトレース)

■作業進捗の確認や、作業負荷を管理できる

「製造管理」と連携し、過剰在庫や在庫不足の発生を抑えます。仕入れから出荷までをロット番号で紐付けすることで、出荷後の製品に使用されている材料、部品が「いつ」「どこから」入荷したのか、即座に判断可能です。

- 入出庫
- 在庫照会
- 棚卸し
- ロット管理

⑥BOM(部品表)管理機能

■製品に関する全情報が一元化されます

生産管理システムには「BOMエディター」が搭載されています。「BOMエディター」を利用することで、設計部門における「設計BOM」、製造部門における「製造BOM」、購買部門における「購買BOM」を簡単に作成できます。これにより製品に関する全情報が一元化されます。

⑦予算管理機能

■純利益を見通した生産管理を行える

システムには、組織全体や工場別の最適な予算を簡単に編成できる予算管理機能が搭載されています。当初計画と期末時のコスト実績を比較して、大きな差異が生じた場合、改善策を提案し、PDCAサイクルを回すことで、より精度の高い予算編成を行えます。

⑧原価管理機能

■営業利益をコントロール

原価計算機能を利用することで、通常では把握しにくい製造原価を管理することができます。人の手で原価計算をした場合と比べ、システムで原価管理した方が、より正確性・信頼性を担保することができます。営業がお客様より、製品の値引き交渉された場合でも、精度の高い製造原価がわかると安心です。

■ご不明な点は、お気軽にご相談ください。(デモなどもよろこんでご対応いたします。)

 **ALPHA アルファシステム株式会社**

〒990-0828 山形県山形市双葉町1丁目10-8

TEL/FAX : 023-645-9591 / 9593

E-mail : info@alsys.co.jp